科学研究費助成事業(科学研究費補助金)研究成果報告書

平成24年 5月11日現在

機関番号: 12602

研究種目:若手研究(B)研究期間:2010~2011 課題番号:22792108

研究課題名(和文) 介護老人福祉施設入所者の栄養摂取方法と摂食嚥下機能の実状について

の研究

研究課題名(英文) Methods of nutrition and swallowing function in elderly patients

in long-term nursing care

研究代表者

中根 綾子 (NAKANE AYAKO)

東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・助教

研究者番号: 30431943

研究成果の概要(和文):

介護老人保険施設入所者の食事形態は、入所前の食事形態の申し送り、もしくは個人の希望が 尊重され、客観的な嚥下機能評価に基づいた選択はなされていなかった。それにより嚥下機能 と食事形態のレベルの不一致率は、約4割を占めた。さらに水分の摂取方法も約2割の方に不 一致がみられた。要介護高齢者は誤嚥性肺炎発症のリスクファクターであるといわれるが、嚥 下機能と食事形態の乖離がその大きな原因であると考える。

研究成果の概要 (英文):

The form of food given to patients admitted to care facilities depends mainly on requests made prior to admission as well as patient preference. Unfortunately, patient swallowing function is not assessed in an objective manner, and as a result, approximately 40% of patients are given food forms that are incompatible with their swallowing function. For similar reasons, nearly 20% of patients also receive inadequate fluids. Elderly patients who require care are at risk for aspiration pneumonia, and we hypothesize that giving them food in forms which do not accommodate their swallowing function contributes greatly to this.

交付決定額

(金額単位:円)

| | 直接経費 | 間接経費 | 合 計 |
|---------|---------|--------|---------|
| 2010 年度 | 900000 | 270000 | 1170000 |
| 2011 年度 | 1100000 | 330000 | 1430000 |
| 年度 | | | |
| 年度 | | | |
| 年度 | | | |
| 総計 | 2000000 | 600000 | 2600000 |

研究分野:医歯薬学

科研費の分科・細目:歯学 社会系歯学

キーワード:介護保険施設 摂食・嚥下障害 誤嚥性肺炎 食事形態 VE

1. 研究開始当初の背景

超高齢社会に突入する日本において, 医療従事者が摂食・嚥下障害への理解を深め, 対応を周知させることは急務である. 平成 18 年 9 月の総務省の統計報告によれば 65 歳以上の人口が 2640 万人(総人口の 20.7%), この

うち 75 歳以上は 1432 万人, 65~74 歳は 1208 万人とされ,後期高齢者は総人口のほぼ 1 割を占めている.平成 17 年の厚生労働省の人口動態統計では高齢者の肺炎は,悪性新生物・心疾患・脳血管障害の 3 大疾病に次ぐ第 4 位の死因で,さらに 90 歳以上の死因

においては第2位にまで浮上する. 今後も増 加する高齢者の主な死因である肺炎を防ぐ ためには、患者の摂食・嚥下機能を正確に把 握することが対応の第1歩であるが、介護保 険施設従事者においても同様のことが必要 であると考える。施設入所者の栄養摂取方法 や食形態はいったいいつ、だれがどのような 理由で決定されたのか不明なことが多く、実 際に肺炎で入院したり、窒息事故をおこし、 最悪のケースには命を落とす入所者も少な くない。過去に我々は摂食・嚥下障害患者は 急性期に機能の判断をされたまま、在宅や施 設などでは放置されている現状であること を明らかにした. よって今回、介護保険施設 入所者の栄養摂取方法や食形態がどのよう な理由で決定されているかを明らかにし、さ らにはその方法や形態が個人の機能と一致 しているのかを明らかにしたい。

現在まで、摂食・嚥下障害の精査には Videofluorography(以下 VF)検査がもっとも 優れているとされ、この検査は被爆を伴い設備も大掛かりとなるため、限られた設備でしか行えない検査であるとされてきたが しかし近年、嚥下内視鏡(以下 VE)は、被爆が無く 持ち運びができ、検査食として日常の食事を 利用できる汎用性の高さと、誤嚥などの検出力は VF と比べて遜色ないという報告のも・ 普及しつつある検査であり、設備の小型・軽量化されたポータブルタイプのものが出てきており、さらに有用な検査となりつつあることもこの研究の一助となると考える。

2. 研究の目的

平成21年4月の介護保険事業報告によると 4,689,923 人と報告されている要介護高齢者 のうち、827,936 人が施設サービスを受給し ている。施設サービスを受ける上で重要な項 目として挙げられているのが、食事である。 安全に栄養摂取を行うことは、今後も増加す る高齢者の主な死因である肺炎を防ぐため、 さらには窒息事故を防ぐための対応が急務 とされている項目であると考える。しかし現 状では施設サービス受給者の栄養摂取方法 や食形態は理由なく決定されていることが 多く、個人の機能と乖離している可能性が考 えられる。よって、介護保険施設入所者の栄 養摂取の方法決定の現状を調査し、さらに個 人の摂取している食事形態と摂食・嚥下機能 を評価しその一致性についての研究を行う。

3. 研究の方法

(1) 「栄養摂取方法と食事形態決定方法」「摂 食・嚥下障害(疑いを含む)者への対応」「嚥 下機能検査の周知状況」についての介護保険 施設へのアンケート調査について

2011年1月に全国1000の介護保険施設にアンケートを送付し、調査を行った。送付先の

内訳は、介護老人福祉施設 479 件(以下特養)、介護老人保健施設 521 件(以下老健) で、各都道府県より無作為抽出で行った。

アンケートは、施設入所者の食事形態決定 方法とその理由、形態決定者について回答を 求めた。アンケート(Fig1)は A. 施設につい て、B. 回答者の職種、C. 入所者の栄養摂取 方法と食事形態決定方法について、D. 摂食・ 嚥下障害(疑いを含む)をもつ入所者への対 応について、E. 嚥下機能検査の周知状況に ついての内容である。

各項目についての回答は以下のように設 定した。

A. 回答者の属する施設は、特別養護老人ホームもしくは老人保健施設から選択し、施設名と調査時点での施設入所者数を記入する形式をとった。

B. 回答者の職種は入所者の食事形態決定にかかわっていると考える職種を①管理栄養士・栄養士 ②施設管理者 ③調理担当者④介護士 ⑤看護師 ⑥理学療法士 ⑦作業療法士 ⑧言語聴覚士 ⑨相談員・介護支援相談員 ⑩その他の 10 項目に分けた。

C. 入所者の栄養摂取方法については人数を、 食事形態決定方法については、入所時と変更 時の食事形態の決定者と選択基準について の質問を設定した。

D. 摂食・嚥下障害をもつ入所者への対応については、摂食・嚥下障害者の有無とそれらに対する取り組みについての質問を設定した。さらに、経口摂取の継続が困難と判断された方の転帰についても質問した。

E. 嚥下機能検査の周知状況については、その 認知の有無と程度について質問を設定した。

Fig1 入設者に提供する食形態と導下機能に関するアンケート 鉄高する項目に〇を、_____内には、具体的な数学、内容をご記入下さい。 A. 貴族設について 16.70 ①特別表達を人かーム ひき人保健協会 3. 入居されている人数は何名ですか? R 9/4 ____R) B. アンケートの回答者の順種は? ①で何次奏と・次条と ①東京号音さ ②濃利用リオ ①水浦上 ①在溝前 ①何字寄址上 ②作楽報出上 ②月田曜址上 ②和談前・介護文統代談員 粉モの私 () C. 入居者の食事について 1. 栄養療用方法 | 哲宗真: <u>格</u> | PBG (評価): <u>格・FVH (中</u> | DIV (末柄野朝からの心面): <u></u> 空经营采集: 6 · IVH (中心静脈栄養):____ 入服時の食事制御について 1) 主に食事を決定するのは誰ですか? ①管理录集士·录集士 位施政管理者 ②調明性当者 ⑥介護士 ⑤音薄牌 ⑥即写像法士 ②作案接压士 ⑧四面物管士 從伯牌 粉曲料配料 窃和鹿员。介据支援专門员 常家原本允益本人 2) どのような項目を参考にされていますか? (複数回答可) ①人切前の食が助を翻紋 立病院からの場合する3 - 団怪師の政策 (日本人、実践の名質 同様子権事務を結果-11 人院中 21 人写中の井永立政 (6) 社会 1) 主に入場中の食形態を変更するのは誰ですか? D管理采集士·采集士 立施政管理者 亚基础性方象 ①介置士 古香油研 ①理学等选计 ②作案等示计 图言法特殊士 范围部 mit

| 金倉有高額 会特製品・金銭主要専門品 金製集を介は主人 ②でで他 1 ② 東京する際には何を参考によれますかで (製製網等可) ①供売からの総数サッドー 位紙券の影響 金まん、車場の券型 企業で無数数数数率・10 入所を 3 入所のの外支援数 3 付数 ②その他 2 10 別数・場下開発 (繰り) 側はいますか (通色も含む) で 切りむ (十年) 単分・機下開発 (繰り) 側はいますか (通色も含む) で 切りむ (十年) 単分・機下開発 (繰り) 側はいますか (通色も含む) で 切りむ (十年) 単分・機下開発 (繰り) 側はいますか (通色も含む) で 切りむ (十年) (利力・大学を表す。) のだっていない (無血を出着を下より) 例 7 (無力をよせる反称 (加別・毎日かないから (など) 3) どのような取り組みを行っていますか? (複数数等可) ①表表形態の表表 (本来内外を大変数をおる ②は検別額がに限めてる (本来内外を大変数をおる ②は検別額がに限めてる (本来内外を大変数をおる ②は検別額がに限めてる (本来内外を大変数をおる ②は検別額がに限めてる (本来内外を大変数をおる ②は表表の表表を表示と、(複数数等可) ②その他 (現実の) (の) (現実の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (| | | | | 2 |
|--|--|--|---|---|--|
| ②その他 () ② 変更をする際には何を参考にあれますかで (機動部等可) ① (研究からの追談サマジー (受験が必要) ②また、平地の希望 ②表で機能を設定する () 入所す ②) 入所すの外来変勢 ② 付着 ②その他 () ② 類皮・機下層高について ① 入海者の中に、変え・機下層等 (横い) 側はかますか (通色も変わ) ? ① (いる) () () () () () () () () () | | | | | |
| ①疾死からの追抗サモリー 位派遣の影響 ②本人、軍族の希望 ②表で機能を接触を対象である。 ② での他(② ・ 押念・検す機能について 1) ・押念・検す機能について 1) ・利害をから、 | | H-91 | - | 学送 单九12年 | A. |
| 1) 入海者の中に、摂金・機工障害 (編4) 単位かますか (議会も含む) で (Divis Lind) への対象ですが (国の内) (国際主 へ出場ができまり コンシの (小水) (国際主 へ出場ができまり コンシの (小水) (場合 大田 (大田 (大田 (大田 (大田 (大田 (大田 (大田 (大田 (大田 | ①研究からの選別で ②新学報的報義報業 | # II to 1 | immone. | 企业人、平原 | の希望 |
| ①いる (一生) 一部連合下され ②いかい (田野玉 一出連合下され) ②いる (小な) 無路 上記 (日か成の経済を行っていますか? ②けっている (小な) 一 「お達かすかり ②けっていない (細胞をお着き下さい) ※(でっていない (細胞をお着き下さい) ③ どかような取り組みを行っていますか? (議整銀等項) ③ 大学形態の漢字 ②示かだに) はもせいない (体型) ③ とかまっな取り組みを行っていますか? (議整銀等項) ③ 大学形態の漢字 ②示かだに) はもせいる ③ おかいキール(形に地域する ②歌がなるも受けている ② この他 ④ 清潔に経口明恵の経域が開催ではと思われた入級を受機動した場合の、その後の金書か始と入議所は死に割合する概念に○をつけて下さい。(後継等項) ※(第2年) 「「「「「「「「「「「「」」」」 (日本の本では) 「「」」 (日本のまた) ※(第2年) 「「「」 (日本の本では)」 「「」 (日本のまた) ※(第2年) 「「「」 (日本の本では)」 「「」 (日本のまた) ※(第2年) 「「「」 (日本の本では)」 「「」 (日本の本では)」 「」 (日本の本では)」 (日本の本では)」 「」 (日本の本では)」 (日本の本では)」 「」 (日本の本では)」 (日本の本では)」 「」 (日本の本では)」 「」 (日本の本では)」 「」 (日本の本では)」 「」 (日本の本では)」 (日本の本では)) (日本の本では | D. 拥食·病下腰前に | 3190 | | | |
| 2) いる (小女) 無会、無難として関か動き組みを行っていますかす ①行っている (小力・小力能ルテカト) ②行っている (川田内を書きすまり) 例(加藤・芳からせる家庭 (南田) を包わないから (など) ② とのような取り組みを行っていませか? (護数回答等) ② 未要の必要で (本大に)・1 を刊ける ② 地数別部に関わって (本内大・2 を打ける) ② 地数別部に関わって (本内大・2 を打ける) ③ 地数別部に関わって (本内大・2 を打ける) ② での他 (| 2 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 | | | | The second secon |
| ①行っている (一型) 小型連入下点() 即行っている(、福田中本書を下耳() 例 7回数 ・受性とする(第四) を担めないから(など) 3) どのような取り組みを行っていますか? (議整選等項) ①未予形態の表定 ②未分にトドミを行ける ②は被別期がに限めてる ②本門片を大変数をなる ②からテンド型に対策する ②素門片を大変数をなる ②さらた。 (記述 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) | | | | | |
| ②行っていない(構立をお書き下さい) 例の 指数・安からせる状態(時間)を担いないから(など) 5: どかような歌り組みを行っていきすか? (情数据等項) ①未書形態の漢字 ②大学にトルしを付ける ②地数別数に規則する ②本門外来で数をとせる ②かが、テンツを以び ②での他 (4) 実際に超口形式の機能が消離ではと思われた入級者を複数した場合の、 その後の中間がたと入級限球児に動きする概念に口をつけて下さい。(後 数据等項) | | , - | | 美电器小工 145 | 数字 かって |
| 例)指数・安然をせる状態(病院)を知らならから(など) 3) どのような取り組みを行っていますか? (機能探客句) ① 大事形勢・原常 ② 大学・レード ミサザリる ② 地数部 別され間でする (連門外来の支援をとなる ② からいそつけ悪に地域する ② 砂数 VE も受けている ② その他 4) 実際に様に思なり接続が困難ではと思われた入場者を植動した整合の、その後の中央の対象が対象的が記しませなれた入場者を植動した整合の、その後の中央方法と入場所が対象が対象が対象をあると表を合いこをつけて下さい。(様態所養の) 5年 10 日本 10 | | | | | |
| 5) どのような取り組みを行っていますか? (複数接等句) ①未事形態/実質 ②本分にトロミモゼリる ②地数無数に根原する ②本門外来を気動させる ②ため、中・川田に相談する ②数別なるを受けている ②その他 (4) 実際に経口販路の提続が実施ではと思われた入野者を経験した場合か、 その後の母者が始と入場所が死に動名する核分に〇をつけて下さい。(原 表現する) (資度) (資度) (資度) ((本事を単すを (中) (共和日本) (日本日本) 20日ま入屋 20日ま入屋 | | | | anne raimas | 102 |
| □乗事務の複要 □乗やにトロミサ付き □域数別がに限する 三本門外系を支配させる □からテンド部に対策する 三本門外系を支配させる □からテンド部に対策する 三本門外系を支配する。 □ 大都に移口関系の経験が対策ではと思われた入場者を経験した場合の、その後の報告が始と入機関が対し、指令する機能とこをつけてするい。(原業部等等) □ 大器では、「発達」 (保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | N) 1881 - 500-0 | # 00KM | (MIN) ESS | 051910-10 | 53 |
| □乗事務の複要 □乗やにトロミサ付き □域数別がに限する 三本門外系を支配させる □からテンド部に対策する 三本門外系を支配させる □からテンド部に対策する 三本門外系を支配する。 □ 大都に移口関系の経験が対策ではと思われた入場者を経験した場合の、その後の報告が始と入機関が対し、指令する機能とこをつけてするい。(原業部等等) □ 大器では、「発達」 (保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | WORLD TO WARRIED | | | | |
| ②地数系統に根据する (全帯門外来を受動させる) ②からサールが高い地域する (主動物 VE を受けている) ②その他 () 実際に経口原語の提続が測載では上型われた入研者を経験した場合の、 その後の母素が始と入場所が死に割合する核分に〇をつけて下さい。(所 表示等等) (第二) (第三) (第三) (第三) (第三) (第三) (第三) (第三) (第三 | | | and the second second | Andreas movement | |
| ②からもついまご出版する ②数数を基金サイエいる ②その他 (1 実際に経口販売の機能が困難ではと思われた入場をを植動した場合の、その後の最高力能と入場所が戻に数当する核合化ごをつけて下さい。(株 数据等可) (資金) (資金) (日本日本 (1) (日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本 | | | | | |
| ①その他 (1) 漢字に超口原因の接続が困難ではと思われた入場者を植動した整合の、その後の栄養力能と入途所従紀に終告する核心に〇をつけて下さい。(2) 推断等等。 (2) 注意 10 (| ①共享日後の実 党 | 原水份 | CHALERIA | 5 | |
| 4) 清潔に経口研究の疑惑が困難ではと思われた入語をそ組製した場合の、 その後の世書方法と入議所は死に割当する概念に〇をつけて下さい。(漢 意思等可) | ①未来日本の文字 ②集的別はこの第十 | 0 64 5 64 | CIHEENI MARRONE | 5 45 | |
| その後の栄養力能と入場所が別に数名する概念にごをつけて下さい。(原 製造等で) | ①未来的影片就完 ②地数数据公司第一 ②からそうに変に数 | 0 64 5 64 | CIHEENI MARRONE | 5 45 | 1 |
| 数据等性 PES お世中 PF 和日申か立ち 入居下水 ではまたます ではまかませま ではまかます でもから 日本日 | ①未来的影片就完 ②地数数据公司第一 ②からそうに変に数 | 0 64 5 64 | CIHEENI MARRONE | 5 45 | |
| 入品内状系 (管理) (株本を全年本 (中(株の名))(4)() その意とA所 海原 入助 (原管等・自然数) | DANKSCHE DESCRIPTION DESCRIPTION | □米分 5 任事 終する | に1日(を刊) 門外来を対象を E動物 VE +会 | 5 45 0 CV-5 |) |
| その音を入談 連絡 入版 (顕著等・音化版) | ①食事別動の変更 ②域数数数に根据す ②かかやつけまに他 ②その他 () 実際に経口原致の機 その後の栄養力能と | の水分 の 日本 終する | に1日 1 年刊 17 門外来を対象 8 巨動物 VE 4 章 | さ せち がている 入掛すを転換 | した場合の。 |
| 為所 人物 (陳義哲 - 世代期) | ①食事形態の変更 ②域数別期に限期す ②からそうが正式に関 ②その他 () 4) 実際に疑り模型の機 その後の機力地と 動画等可? | ○水分 ○ 日本 数する 数が困難 入連所的 | CTHISHI MARSSE E動策VE+S VIZと思われた Eに酵音する帳 | ち せち のている 入野 ぎを起車 分に〇をつけ |) L大量会の。 TTS41、(種 |
| 人物 (開発性・後代期) | ①食事の動の資素 ②機能調整に限期す ②からかった可能に ②その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ○水分 ○ 日本 銀する 総が困難 入連所的 | にトロリを行け 門内をも分割さ を飲料 VE も名 ではと避われた Eに動物する様 | ち せち けている 入野者を福祉 分に〇をつけ Mr | L力量会の、 TTSV、(庫 |
| The state of the s | ①食事を動い模式 ②通数回数に利用す ②なった 200回に用 ②その他 (4) 実際に超り研究の機 その後の栄養力性と 参照等等) ※単位 人品等であ | ○水分 ○ 日本 銀する 総が困難 入連所的 | にトロリを行け 門内をも分割さ を飲料 VE も名 ではと避われた Eに動物する様 | ち せち けている 入野者を福祉 分に〇をつけ Mr | L力量会の、 TTSV、(庫 |
| | ①食事物の技艺 ②地球の間に利用で ②からか、20回に用 ②その地 4) 演像に超い模型の機 その後の体質力能と 参加等可 とのはなる よのはなる よのはなる なのはなる なのはなる | ○水分 ○ 日本 銀する 総が困難 入連所的 | にトロリを行け 門内をも分割さ を飲料 VE も名 ではと避われた Eに動物する様 | ち せち けている 入野者を福祉 分に〇をつけ Mr | L力量会の、 TTSV、(庫 |
| | ①食事的動の漢字 ②地球的同年(中級)・ ②かった。以下第23年 ②その他 (イン 実際に関ロ研究の機 その後の学者力能と 参加等可) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 四水分 日本 銀 ナ の 銀 ナ の 親 が 困難 入 連 所 申 次 (質 重) | に)日 1 年刊 11 円内 来る 支助 3 正数 対 1 五 年 支 では と 避われた に 野治 す と 概 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | を せる けている 入影響を複数 没 社のをつけ Mir _{(中) 最初を} | した場合の。 TFSV、(種 RURRIUS (一年 一年) |
| 信義に使取的なを表質したから | ①央等形象の技術 ②地球の関係に保証する ②なの他 () 実際に基立機 ②その他 () 実際に基立機 その後の栄養力能と 他の事業力能と 無限等別 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 四大分 の 日本 銀ナる 数が困難 入連所的 (質量) | にトロリを行から 門外来を支払された ではと思われた におおする様 (本書をまてを) ルだ別は、そ) | を せち けている 及転回を超動 かにのをつけ か。 では今年の本 | した場合の。 で下さい、個 自の用れなお シャー申り |
| 造職學学業(PEO・D'E など)を発針したが、無数にその例がなく。 | ①大事物の技艺 ②地球のおより様子 ②かった 10 年12 月 ②その地 4) 実際に超口模型の機 その他の学者を対象と を影響可 からなる人 みのまる人 あり とのような とのよう とのよう とのような とのような とのよう とのよう とのよう とのよう とのよう とのよう とのよう とのよう | 回水分 の 任本 様子の 様子の 様子の 様子の (関連) よ過程数 (関連) より を持ち の (関連) | にトロリを行け 門外来を支助さ を動物である会 ではと思われた 会に静治する様 をサラ (8.45年11年) から とだり、を検針した | を せち けている 及転回を超動 かにのをつけ か。 では今年の本 | した場合の。 で下さい、個 自の用れなお シャー申り |
| ②職業主義 (PEG・INE など) を解析したが、無数にその時がなく、 適所の必要があったため。 | ①食事的動の演更 ②地球回回に利用す ②その地 () 実際に疑り原動の機 その後の学業力地と 参加等可? () () () () () () () () () () () () () (| 日本分 の 日本 の 日本 表が困難が を を を の 日本 の | にトロリを行け 門外来を支数さ 記数数 VE を受 ではと思われた 民に動物する様 (株本年本で年 ルグフロレ、そ) から、 とがり にと、 を対し、 を対し、 を対し、 は、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 | を せる がでいる 入語者を極難 発に〇をつけ が が の場合を搬えた たが、無難にそ | した場合の。 でするい、(機 用の形かなお シー・申記 ですると、 |
| ②経費主義(学EG・N型 など)を検討したが、推動にその時がなく、 連携の必要があったため ②投資事業(学EG・NT など)を検討したが、圧倒による影響で | ①大事等的の漢字 ②地数数回知に知识す ②のかか 2 12 23 12 25 ②での地 (4) 実際に最け情報の影響 その他の本書の始と 参加等可 の意志入明 点数 20 20 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 四本分 の 任本 の 任本 最が困難が (関連) ・ (関連) ・ (関連) | にトリミを行け 門外を大型数さ 医数数VE・中型 では上型かれた 旧に設備する機 機構を変す (株件を対した) から とり から とと が にと が に と り に と り に り に り に り に り に り に り に り | を せる がでいる 入語者を極難 発に〇をつけ が が の場合を搬えた たが、無難にそ | した場合の。 でするい、(機 用の形かなお シー・申記 ですると、 |
| ②航音本集(PEG・PSE など)を発射したが、複数にその株がなく、 適的の必要があったため ③信音主集(PEG・PSE・PSE など)を検討したが、伝統による影響で 連合となうなかったから | ①食事的動の演更 ②通数回数に保証す ②され他 (1) 演奏に最口問題の最 その意とが を取事可 ・ | 四本分 の 任本 の 任本 最が困難が (関連) ・ (関連) ・ (関連) | にトリミを行け 門外を大型数さ 医数数VE・中型 では上型かれた 旧に設備する機 機構を変す (株件を対した) から とり から とと が にと が に と り に と り に り に り に り に り に り に り に り | を せる がでいる 入語者を極難 発に〇をつけ が が の場合を搬えた たが、無難にそ | した場合の。 でするい、(機 用の形かなお シー・申記 ですると、 |
| 信頼学主義 (学20 - 17日 など) を兼計したが、推設にその時がなく、 連携の必要があったため 信頼等主義 (P2G - 17日 など) を無計したが、圧倒による影響で | ①食事的動の演更 ②通数回数に保証す ②され他 (1) 演奏に最口問題の最 その意とが を取事可 ・ | 四本分 の 任本 の 任本 最が困難が (関連) ・ (関連) ・ (関連) | にトリミを行け 門外を大型数さ 医数数VE・中型 では上型かれた 旧に設備する機 機構を変す (株件を対した) から とり から とと が にと が に と り に と り に り に り に り に り に り に り に り | を せる がでいる 入語者を極難 発に〇をつけ が が の場合を搬えた たが、無難にそ | した場合の。 でするい、(機 用の形かなお シー・申記 ですると、 |

| hetco | | and the second second second second |
|---------------------------|--|---|
| | No. of the last of | ②食事や水分などにトロミ類を使用 |
| していま | | The same contract of the same |
| 05+6 | | ②いない(設問 7. 〜北差み下さい) |
| | | ロミ濃度を決定するための項目や基準 |
| はありま | 3 20-3 | Charles County - August Training |
| (D&S | SELECT OF SECURITY OF SECURITY | ②ない(設問 7. へお恋み下さい) る場合はどのようなものを参考に |
| 450000 | 製技に基準かめく ますか? | O層音はどのようなものを参考に |
| | 実体などにより。 | mark c. skriv |
| | | 前及で無総 一 ②仮断の診断 印本人、家族の希望 |
| Sec. 1 10-51-5 | | 人院中 2) 人所中の作業受許 3) 往路 |
| 節その性 | | WHEN BY MECHANISMS AS IEEE |
| 1.07.37.37.57 | | その基準の機能について具体的にお書き下さ |
| 14 | AND DESCRIPTION OF | 子の発布の原則に入って各体的にお見られる |
| 1.7 | 161 | ni - |
| | 体的な基準 | |
| 20000000 | The second second | F (CmD) に下ので削水させの杯など |
| 100 | 40; (48) : | |
| 4 | - 0.50, 0.000 | |
| | | |
| | | 5 |
| 4 | BE (BE) : | |
| 7)。 感下検査に | | |
| (1) 株下株は | nee (VF (唯 | F造能)・VE (痛下内視線) など) について |
| 加ってい | ますか? | |
| (I) Mr-57 | CV+6 | ②知らない (設開 8. へお進み下さ |
| (11) | | |
| (2) どのよ | ろに知りましたが | *9 |
| (2000年1月1日) | 間VE検査をして | てもらっている |
| 即外来受許 | したことがある。 | or 出来る病院を無っている |
| の動強会な | どで知った | |
| 金さの担 | ñ | 7 |
| W=10. | | |
| 8)。 医療性肺炎 | を繰り返す入思 | 者はいますか(疑いを含む)? |
| 000+5 | | 201-221- |

| 9) 現在、経口核取を維続することが困難と思われる人居者はいますか? ①いる ②いない 10) 身近に鳴下や栄養、食事などについて相談できる所(人)はありますか? ①加度問題 ②中門門料 ②血料円間 出が間間間が間信件円能 ②おお師(②との他 (|
|--|
| |

(2) 介護保険施設入所者の食事形態と水分 摂取方法の一致性について

2011年1月~2012年3月に、都内近郊の介護保険施設500件に郵送で研究調査を依頼し、同意の得られた16件の介護保険施設入所者91名(男40名、女51名うち経管栄養16名)に、各施設の協力の下、普段食べている食形態と水分を用いてVE検査を行った。その結果を6段階(1:問題なし2:多少の残留・喉頭侵入あるが食形態や水分摂取方法の変更は必要なし3:食形態変更推奨4:水分摂取方法変更推奨5:食形態と水分摂取方法いずれも変更推奨6:誤嚥・残留・喉頭侵入以外の理由により食形態か水分摂取方法のいずれかまたは両方とも変更推奨)に分類し個人の嚥下機能と食形態や水分の摂取方法がどの程度一致しているのかを調査した。

4. 研究成果

(1)「栄養摂取方法と食事形態決定方法」 「摂食・嚥下障害(疑いを含む)者への対応」 「嚥下機能検査の周知状況」についての介護 保険施設のアンケート結果

発送した 1000 施設 (特養 479 件、老健 521 件) のうち、363 の施設 (36.3%) より回答が得られた。内訳は特養 190 件(52.3%)、老健 170 件(46.8%)、不明 3 件 (0.8%) であった。うち、有効回答は 351 件の施設 (35.1%)、内訳は特養 188 件 (39.2%)、老健 163 件 (31.3%)であり、それらを調査対象とした。

回答施設の入所人数は99人以下が特養149件(79.3%)、老健105件(64.4%)、100~199人が特養37件(19.3%)、老健57件(35.0%)、200人以上が特養2件(1.1%)、老健1件(0.6%)であった。経管栄養の入所者がいる割合は169件・139件(89.9%・85.3%)、経管栄養者数は施設当たり平均7.4±5.5人・6.8±6.0人

であった。

食事形態決定を行っている職種は、ともに 管理栄養士・栄養士が 106 件・78 件(28.4%・ 26.4%)で最も多く、特養は次いで看護師が 94 件(25.2%)、老健では医師 73 件(24.7%) であった。食事決定の参考資料は、ともに「入 所前からの食形態を継続」が 176 件・144 件 (31.8%・29.0%)、次いで「病院からの退 院サマリー」が158件・140件(28.6%・28.2%) であった。食事形態変更を行っている職種は、 ともに看護師で108件・89件(25.6%・25.9%) で最も多く、次いで管理栄養士・栄養士が105 件・86件(24.9%・25.0%)であった。食事 変更の参考資料は、ともに「本人・家族の希 望」が 123 件・107 件 (27.3%・31.0%) で 最も多く、次いで特養は「病院からの退院サ マリー」が 109 件 (24.2%)、老健は「その 他」が83件(24.1%)であった。

摂食・嚥下障害(疑い)者が「入所している」は187件・163件(99.5%・100%)、それらに対しての対応を「行っている」が185件・161件(98.4%・98.8%)。内容は「食事形態の変更」185件・159件(33.8%・32.1%)や「水分にとろみをつける」181件・159件(33.0%・32.1%)が多かった。経口摂取の継続が困難と判断された入所者のその後として「PEGでそのまま入所」がどちらも多く137件・83件(26.2%・19.6%)、次いで「経口でそのまま入所」が99件・76件(18.0%・19.0%)であった。経口摂取が困難な方がそのまま経口摂取を継続した理由は、「経口摂取のみを希望した」が77件・56件(55.0%・56.5%)で大半を占めた。

嚥下機能検査については、「知っている」が 167 件・155 件 (88.8%・95.1%) であり、そのきっかけは「勉強会」が 114 件・104 件 (61.0%・60.9%) で最多だった。身近に入所者の栄養や食事について相談できるところは 70 件・80 件 (27.5%・36.5%) で「施設医師」だった。次いで特養は 50 件 (19.6%)で「訪問医師/訪問歯科医師」であった一方、老健は 55 件 (24.1%) が「その他」、33 件 (14.5%)が「ない」であった。

施設入所の際の食事形態決定や入所後の 食事形態変更には看護師や管理栄養士など 専門職がかなりの割合で関わっていた。しか し食事形態を決定する際の資料としては、入 所前からの食形態を継続や本人や家族の希 望という項目が上位であった。調査対象の介 護保険施設には、摂食・嚥下障害者が入所している割合はほぼ 100%であるのに対し、全 国的に経口維持加算の取得が行われていない状況を裏付ける事項として、施設の重要な 項目である「食事」に関する客観的な評価や 指導が行われていない現状が明らかになった。 (2)介護保険施設入所者の食事形態と水分 摂取方法の一致性について

①普段食べている食形態と水分を用いて VE 検査を行った結果は、1 問題なし:27 人(29.7%) 2多少の残留・喉頭侵入あるが食形態や水分摂取方法の変更は必要なし:13 人(14.3%) 3 食形態変更推奨:22 人(24.2%)4水分摂取方法変更推奨:5人(5.5%) 5食形態と水分摂取方法で更推奨:13人(14.3%)6 誤嚥・残留・喉頭侵入以外の理由により食形態か水分摂取方法のいずれかまたは両方とも変更推奨:9人(9.9%)で食形態の不一致率38.5%、水分摂取方法の不一致率19.8%、全量経管の人が少量経口可能な割合は8人(50%)であった。

以上より、要介護高齢者は誤嚥性肺炎発症の リスクファクターであるという報告がある が、個人の嚥下機能と摂取している食事形態 に乖離がみられることがわかった。

今後は、VE 検査協力を得た91名のその後の 食形態の変遷と転帰を調査し、要介護高齢者 の食事形態と誤嚥性肺炎の発症率の関連性 を調査していきたい。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に は下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

① 大久保陽子、<u>中根綾子</u>、柴野荘一、栩木 紫緒「VE 導入による経口維持への取り組 みの成果-誤嚥性肺炎等減少と入院日数 減少による経済的効果-」査読有 日本摂 食嚥下リハ会誌 15 (3): 253-263, 201

「学会発表」(計4件)

- ① <u>中根綾子</u>、栩木紫緒 「介護保険施設入 所者の食事形態と嚥下機能の一致性につ いて」第 17 回・第 18 回共催日本摂食・ 嚥 下 リ ハ ビ リ テ ー ション 学 会 2012.8.31 札幌
- ② <u>中根綾子</u>、栩木紫緒 「介護保険施設入 所者の食形態決定の現状について-アン ケート調査結果より-」日本老年歯科医学 会 第 23 回学術大会 2012. 6. 22 茨城
- ③ 大久保陽子、<u>中根綾子</u>「介護福祉施設に おける経口維持計画の作成による誤嚥性 肺炎等減少の効果」第 11 回健康栄養シス テム学会 2011.6.26 岐阜
- ④ <u>中根綾子</u>、柴野荘一、栩木紫緒、若杉葉子、高島真穂、植松宏「介護老人福祉施設における経口維持加算算定による施設の経済的効果」日本老年歯科医学会 第22回学術大会 2011.6.17 東京

- 6. 研究組織
- (1)研究代表者

中根 綾子 (NAKANE AYAKO)

東京医科歯科大学大学院・医歯学総合研究

科・助教

研究者番号:30431943

(2)研究分担者 ()

研究者番号:

(3)連携研究者

()

研究者番号: